

## 「骨塩定量(DIP 法)」 CR フィルム使用時の撮影方法に係るお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、骨塩定量(DIP法)の検査委託先より、測定機器の老朽化に伴い後継機種への変更を行う旨の連絡を受けました。

なお、測定機器の更新に伴い検査機器のサイズが縮小することにより、撮影方法によっては検査機器にフィルムが入らず測定できない事例が発生することが確認されております。このため、CRフィルムを用いて撮影する場合は下記のとおり撮影方法に留意いただきたくご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目と留意事項

##### ●[4105] 骨塩定量(DIP 法)

	フィルム種類	撮影方法	検査可否
1	X 線フィルム	横	○
2	X 線フィルム	縦	○
3	CR フィルム	横	○
4	CR フィルム	縦	×

※詳細は裏面資料をご参照ください。

#### ■変更期日

##### ●2022 年 5 月 30 日(月)受付日分までにご対応ください。

※5 月 30 日まで現行機種と後継機種の併用にて検査を行いますが、5 月 31 日以降、後継機種のみで検査が行われるため、「縦」で撮影された CR フィルムでの測定は行えませんので予めご了承ください。

以上

## 骨塩定量(DIP 法)撮影方法の留意事項

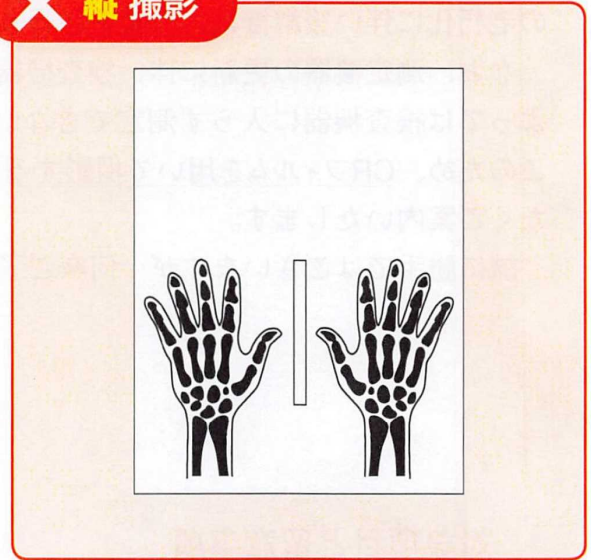
測定機器の更新に伴い検査機器のサイズが縮小することにより、撮影方法によっては検査機器にフィルムが入らず測定できない事例が発生いたします。CR フィルムを用いて撮影する場合は、下記のとおり撮影方法に留意いただきますようお願いいたします。

### ■正しい撮影方法

#### ○ 横 撮影



#### ✕ 縦 撮影



「縦」撮影でご提出のCRフィルムは、**検査不能**となります。



#### 撮影方法

1 m 離す

X線の撮影条件を 50 kV、100 mA、0.04 秒<sup>※1</sup> に設定します。

カセット上にアルミスケール<sup>※2</sup>と両手を置いて撮影します。  
手のひらはカセットに密着させるように置いてください。

※1 機種により異なります。  
※2 アルミスケールは標準のアルミスロープをご使用下さい。

(DIP 法による骨塩定量検査について-浜松ホトニクス-より引用)